

## 用語解説

---

### あ行

---

#### アイドリングストップ

人を待つ時や荷物の積み降ろしなどの間、こまめに自動車のエンジンを止めること。アイドリング 10 分間で 140cc 程度の燃料を無駄にするとされており、環境省では平成 8 年から「アイドリングストップ運動」を呼びかけている。

#### I P C C (気候変動に関する政府間パネル)

世界気象機関 (WMO) と国連環境計画 (UNEP) との協力の下、昭和 63 年 (1988 年) に設立された。その任務は、二酸化炭素等の温室効果ガスの増加に伴う地球温暖化の科学的・技術的 (および、社会・経済的) 評価を行い、得られた知見を、政策決定者始め、広く一般に利用してもらうことである。

#### 硫黄酸化物 (SO<sub>x</sub>)

二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>)、無水硫酸 (SO<sub>3</sub>) が主なものであるが、二酸化硫黄は、重油中の硫黄分の燃焼に伴って発生するガスで、ほとんどが工場やビルなどの固定発生源から排出され、呼吸器管に対し長期的、短期的影響を与え、他のガスとの相乗効果も大きい。

#### 一酸化炭素 (CO)

酸素不足の状態では、燃料が燃焼するとき発生する無色、無臭のガス。血液中のヘモグロビンと結合し、酸素の補給を阻害し、ひどいときは窒息にまでいたる。

#### エコツーリズム

自然環境や歴史文化を対象とし、それらを体験し、学ぶとともに、対象となる地域の自然環境や歴史文化の保全に責任を持つ観光のあり方。グリーンツーリズムやブルーツーリズムなどの総称。

#### N P O (民間非営利組織)

Non Profit Organization の略。利潤を上げることが目的としない公益的活動を行う民間団体。その活動範囲は、教育、社会福祉、環境保全、国際交流等多岐にわたっている。

#### オゾン層

大気成層圏のうち、地球の上空約 10~50km に存在するオゾン (O<sub>3</sub>) を主成分とする層。太陽からの紫外線を吸収して地上の生物を保護する役割を果たしている。

#### オフサイトセンター

原子力緊急事態が発生した場合に、現地において、国の原子力災害現地対策本部、都道府県及び市町村の現地災害対策本部などの関係機関が、原子力災害合同対策協議会を組織し、情

報を共有しながら連携の取れた応急対策を講じていくための拠点となる緊急事態応急対策拠点施設。

#### 温室効果ガス

地球温暖化の原因となるもので、赤外線を吸収する気体。二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、フロン、代替フロンなどがある。

---

### か行

---

#### 外来生物 (外来種)

もともとその地域にいなかったのに、人間の活動によって外国から入ってきた生物のことを指す。特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律施行令で定める個体。(生きているものに限る。)

#### 化学的酸素要求量 (COD)

水中の有機物など、水質汚濁の原因物質を酸化剤で酸化するとき消費される酸素量。BOD (生物化学的酸素要求量) と同様に水質汚濁の程度を示す指標とされ、数値が高いほど水中の汚濁物質の量が多いことを示す。

#### 家電リサイクル法

特定家庭用機器再商品化法。不要になったテレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコンの 4 品目を小売業者が有料で回収し、メーカーがリサイクルすることを義務づける法律。

#### 環境影響評価制度

開発事業などを始める前に、その事業が環境に与える影響を調査、評価し、その結果に基づいて事業の内容を見直したり、環境保全対策を立案したりする仕組み。

#### 環境家計簿

日々の生活において環境に負荷を与える行動や環境によい影響を与える行動を記録し、必要に応じて点数化したり、収支決算のように一定期間の集計を行ったりするもの。

#### 環境基準

健康保護と生活環境の保全の上で維持されることが望ましい基準として、物質の濃度や音の大きさというような数値で定められるもの。これを超えると直ちに被害が生じるといった意味で定められるものではなく、対策を進めていく上での行政上の目標として定められるもの。

#### 環境基本法

環境に関する分野について国の政策の基本的な方向を示した法律。具体的には、基本理念を定め、国、地方公共団体、事業者及び国民の責務を明らかにするとともに、環境の保全に関する施策の基本となる事項を定めている。

## 環境騒音

ある地点において、特定の音源がはっきりわかる騒音だけでなく、不特定多数の騒音が混じっている騒音。例えば、住宅地における遠方及び近くの自動車や工場の音、楽器音などが一緒になっている音をいう。

## 環境への負荷

人が環境に与える負担のこと。環境基本法では、環境への負荷を「人の活動により、環境に加えられる影響であって、環境の保全上の支障の原因となるおそれのあるもの。」としている。

## 環境放射線

人間を含めた生物の生活環境内にある放射線のことで、空間放射線及び環境試料の放射能を総称している。

## 京都議定書

1997年12月に京都で開催された気候変動枠組条約第3回締約国会議(COP3)において採択されたもので、先進各国の温室効果ガスの排出量を2008年から2012年の間に先進国全体で、1990年比で5%削減することとした。

## 空間放射線

空間に存在する放射線のことであり、私たちのまわりには、大地、大気からの放射線や、宇宙線などによる自然放射線が存在している。

## グリーン購入

商品やサービスを購入する際に必要性をよく考え、価格や品質だけでなく、環境への負荷ができるだけ小さいものを優先的に購入すること。

## グリーンツーリズム

「緑豊かな農村地域において、その自然・文化・人々との交流を楽しむ、滞在型の余暇活動」というのが国の定義。都市に住んでいる人々などが、緑豊かな農山漁村に出かけ、農家民宿などに滞在し、その地域の自然、文化、産業等を体験したり、祭りやイベントに参加して、余暇を楽しむもの。

## グレイ (Gy)

物質における放射線のエネルギー吸収量を表す単位で、空間放射線の量を表す単位として、X線及びガンマ線の空気吸収線量が用いられる。物質1kgあたり1ジュール(J)のエネルギー吸収があるときの放射線量を1グレイ(Gy)という。

## クロマチウム

約30億年前に出現した原始的な細菌で、バルト海沿岸の湖など、世界で3ヶ所しか確認されていない。これらは、酸素のない水中に溶けている硫化水素を利用し、体内に持つ紅色の色素で光合成を行っている。

## 光化学オキシダント (O<sub>x</sub>)

大気中の窒素酸化物・炭化水素などが、強い紫外線によって光化学反応を起こすことにより、二次的に生成される物質の総称で、主としてオゾン(O<sub>3</sub>)が大部分で、目、咽喉頭、呼吸器に影響を及ぼす。

## 公共用水域

河川、湖沼、港湾、海域など公共の用に供される水域。

## 小型合併処理浄化槽

生活排水のうち、し尿と雑排水を併せて処理することができる浄化槽。これに対して、し尿のみを処理する浄化槽を単独処理浄化槽という。

## こどもエコクラブ

地域の中で楽しみながら自主的に環境活動・学習を行う小中学生のグループ。環境省の事業で、都道府県・市町村と連携しながら支援している。

## コミュニティプラント

市町村が一般廃棄物処理計画に基づき、地域し尿処理施設として設置、管理するし尿と生活雑排水を合わせて処理するための小規模な汚水処理施設。

---

## さ行

---

### 里親制度 (アダプト・プログラム)

環境里親制度。市民グループや企業などのボランティアが「里親」として、道路、公園等の公共施設の一定区画を自らの養子とみなし、定期的に清掃・美化などを行うシステム。ボランティア活動の新しいシステムとして、米国のテキサス州運輸局がハイウェイの散乱ごみ防止対策に導入したのが始まり。

### 里地里山

奥山と都市の中間に位置し、集落とそれを取り巻く二次林、それらと混在する農地、ため池、草原等で構成される地域概念である。これらは、農作業などの人為による適度な攪乱によって特有の環境が形成維持され、絶滅危惧種を含む多様な生物を育んできた。しかし、農林業活動の停滞や生活様式の変化等による、人間の働きかけの減少により、二次的な自然環境の質が変化し、生物多様性保全上の問題が生じている。

### 持続可能

環境面だけでなく、経済、社会とのバランスを保っていくことができること。国の環境基本計画では、環境はもとより、経済、社会の面でもできるだけ質の高い暮らしができる「持続可能な社会」づくりを提唱している。

## 指定管理者制度

公の施設の管理委託は、これまで公共団体や地方公共団体が設立した出資団体等に管理運営を委託する方式に限られていた。しかし、市民ニーズに的確に対応するためには、民間事業者の能力やノウハウを幅広く活用するとともに、市民サービスの向上や行政コストの削減を図ることが必要になった。そこで、平成15年6月に地方自治法が改正され、創設された。

## 自動車リサイクル法

廃車になる自動車を決められた役割と、決められた順序で適正に処理することで、金属やガラス、ゴムなどの資源をリサイクルするための法律。特に、カーエアコンのフロン類やエアバック類などは、適切な処理で処分しないと、地球温暖化の原因にもなる。

## 循環型社会

廃棄より再使用・再生利用を第一に考え、新たな資源の投入をできる限り抑えるとともに、自然生態系に戻す廃棄物を減らして環境負荷を極力低減するシステムを持つ社会。

## 植物群落、群集

同じ場所で一緒に生育しているひとまとまりの植物群をいう。便宜的な概念で、「植生」の単位として用いられる。同じような立地にはよく似た植物群落が見られることから、立地条件、種の組成、群落全体の形状などにより、類型化されることも多い（「植物群系」、「植物群集」などともいわれる）。

## 新エネルギー

石炭・石油などの化石燃料や核エネルギーに対し、新しいエネルギー源や供給形態の総称。新エネルギーには、太陽光発電、風力発電などの再生可能な自然エネルギー、廃棄物発電などのリサイクル型エネルギーのほか、燃料電池、メタノール・石炭液化等の新しい利用形態のエネルギーも含まれる。

## 水源かん養機能

森林の雨水を土の中にすばやくしみこませ、その雨水を一時的に貯めた後、ゆっくりと川に送り出す機能。これにより洪水や渇水を防ぐ。森林が水をしみこませる働きは裸地の3倍といわれており、土の中に水を貯めている間に、水をきれいにする働きもある。

## 水素イオン濃度 (pH)

水質の酸性、あるいはアルカリ性の程度を示す指標。中性の水ではpHは7となり、酸性の溶液はpHが7より小さく、アルカリ性の溶液では7より大きくなる。環境保全の面からは、pH6.5から8.5まであれば問題ないと考えられている。

## 生物化学的酸素要求量 (BOD)

河川水や排水中の有機物が、水中の微生物に

より酸化分解するために消費する酸素量。通常5日間のBODをもって指標とする。BODが高ければその水中には腐敗性物質が多いことを意味し、溶存酸素を異常に消費して魚介類に影響を及ぼすなどの原因となる。

## 積算線量

空間積算線量のことで、通常3か月間の空間放射線の積算量。mGyで表す。

## 線量率

空間放射線量率のことで、単位時間当たりの空間放射線量。通常1時間あたりの放射線量nGy/hで表す。

---

## た行

---

### ダイオキシン類

一般に、ポリ塩化ジベンゾ・パラ-ジオキシン(PCDD)とポリ塩化ジベンゾフラン(PCDF)をまとめてダイオキシン類と呼び、コプラナーポリ塩化ビフェニル(コプラナーPCB)のようなダイオキシン類と同様の毒性を示す物質をダイオキシン類似化合物と呼んでいる。ダイオキシン類対策特別措置法においては、PCDD及びPCDFにコプラナーPCBを含めて「ダイオキシン類」と定義されている。ダイオキシン類は水にはほとんど溶けず、脂肪に溶けやすい性質があり、一旦体内に取り込まれると排出に時間がかかる。

### 大腸菌群数

主に人や動物の腸内に寄生し、水、土壌など広く自然界にも分布する細菌の総称。大腸菌自体の数が多くはそれだけ人畜のし尿などにより汚染が進んでいることを示す。

### 地球温暖化

二酸化炭素、メタンなどの温室効果ガスの増加により、地球の気温が高まり、自然や生活環境に各種の影響が生じる現象。

### 窒素酸化物 (NOx)

一酸化窒素(NO)と二酸化窒素(NO<sub>2</sub>)が主なものであるが、このうち最も毒性が強く、大気汚染で問題になるのは、茶かっ色の刺激性ガスの二酸化窒素である。石油、石炭の燃焼に伴って発生し、工場・ビル・自動車などから排出される。窒素酸化物は燃焼状態が良好なとき、効率よく燃焼しているときに発生する。

### 低公害車

大気汚染などの要因となる自動車排ガス中の二酸化炭素や窒素酸化物等の有害物質を極力少なくした車。電気、天然ガス、メタノール、ハイブリッド車などがある。国土交通省などでは、低燃費で排ガス中の有害物質を国の排出基準より大幅に低減した自動車(低燃費かつ低排出認定車)についても、低公害車としている。

## TEQ

毒性等量。ダイオキシン類の濃度を調べるとき、化合物によって毒性の強さが違うと評価が難しくなるため、測定した化合物の濃度にTEF（毒性等価係数）をかけ、2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの量に換算して表したものの。

## 都市アメニティ

都市環境の快適性、魅力ある環境、生活の質など。アメニティは、ラテン語に由来し「快適な環境」の意味。

---

## な行

---

### 二酸化硫黄（SO<sub>2</sub>）

重油中の硫黄分の燃焼に伴って発生するガスで、ほとんど工場やビルなどの固定発生源から排出され、呼吸器管に対し、長期的、短期的影響を与え、他のガスとの相乗効果が大きい。

### 農業、漁業集落排水事業

農業集落や漁業集落において、し尿や生活雑排水を処理する污水处理場を建設する事業。宅内排水設備工事によって集落排水処理施設に接続し、汚水を処理することにより、集落における生活環境の向上と海や川の水質保全に寄与している。

---

## は行

---

### バイオマス

エネルギー資源として利用できる生物体のこと。バイオマスのエネルギー利用としては、燃焼して発電を行うほか、アルコール発酵、メタン発酵などによる燃料化や、ユーカリなどの炭化水素を含む植物から石油成分を抽出する方法などがある。ゴミや下水汚泥などの廃棄物に含まれている有機分の利用も研究されており、廃棄物処理と石油代替エネルギーの両方に役立つ。

### パブリックコメント

行政機関が政策の立案等を行おうとする際に、その案を公表し、広く市民・事業者等から意見や情報を提出する機会を設け、意思決定に反映する仕組み。

### PRTR法

「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」。PRTR（環境汚染物質排出・移動登録）とは、有害化学物質の環境中への排出量と、廃棄物に含まれて事業所の外に移動する総量を集計し、公表する仕組み。

### ブルーツーリズム

島や沿海部の漁村に滞在し、魅力的で充実した海辺での生活体験を通じて、心と体をリフレッシュさせる余暇活動の総称。国土交通省、水産庁が「漁村滞在型余暇活動」（ブルー・ツー

リズム）として推進している。

### フロン回収破壊法

「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律」。オゾン層の保護及び地球温暖化の防止のため、業務用冷凍空調機器及びカーエアコンを対象に、機器の廃棄時フロンの回収等を義務付けた法律。

### フロン類

特定フロン、代替フロンの総称。特定フロンは、フッ素化合物でオゾン層を破壊する原因物質となりCFC（クロロフルオロカーボン）などがある。この代替品である代替フロンにはHFC（ハイドロフルオロカーボン）、HCFC（ハイドロクロロフルオロカーボン）があり、温室効果ガスでもある。

### 浮遊物質（SS）

水中に浮遊する物質の量。水の濁りの指標となるもので、地表から流出した粘土、有機物、プランクトンのほか工場排水や家庭排水中の懸濁性の物質からなる。

### 浮遊粒子状物質（SPN）

浮遊粉じんのうち、粒径10ミクロン（1ミクロン：100万分の1メートル）以下の粒子状の物質で、主として燃焼施設や自動車から排出され、呼吸器系疾患をもたらす。

### Bq（ベクレル）

放射能の強度又は放射性物質の量を表す単位。1秒間に1個の原子核が崩壊して放射線を出す物質の放射能の強度、又は放射性物質の量を1ベクレル（Bq）という。

### 放射線

放射性物質から出てくるアルファ線、ベータ線、ガンマ線及びエックス線等を総称していう。

### 放射能

原子核がアルファ線、ベータ線、ガンマ線等の放射線を出す性質をいい、その強さをベクレル（Bq）で表す。

### ポジティブリスト制度

基準が設定されていない農薬等が一定量以上含まれる食品の流通を原則すべて禁止し、「残留を認めるもの」のみを一覧表にして示すという方式。

---

---

## や行

---

### 有機溶剤

物を溶かす性質のある物質のうち、炭素や水素の有機性の化合物で構成されている溶剤。これは非常に数が多く、工業的に使用されているだけでも約500種類の化合物が知られている。

### 溶存酸素量（DO）

水に溶けている酸素量。水温・気圧・塩分などでその値は異なるが、汚染度の高い水中では消費される酸素の量が多いので、溶存する酸素の量は少なくなる。清浄な水は19℃、1気圧で約9mg/Lである。

### 4R運動

ごみを減らす運動。リフューズ（発生を絶つ）、リデュース（発生抑制）、リユース（再利用）、リサイクル（再資源化）の4つの頭文字を取っている。

---

---

## ら行

---

### ラムサール条約

イランのラムサールで、1971年に採択された国際条約「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」の通称。広く水辺の自然生態系を保全することを目的とする。日本は昭和55年（1980年）に加盟。国際湿地条約。

### レッドデータブック

絶滅の危機にある野生生物の現状を記録した資料集。